



▲「もっとなかよしまちたんけん」IN 猪又たかひろ事務所

仙台市立南材木町小学校の2年生児童が生活科の学習の一環で、12名の子どもたちが市議会議員の仕事に興味・関心をもち、私の話にメモを取って話を聞いてくれました。地域愛を育む教育をこれからも応援してまいります。



▲NPOこよみのあしおと 農作業DAY

毎年恒例の「NPOこよみのあしおと収穫祭」で若林区日辺の相原さんファームで農作業体験。自分の顔よりも大きい白菜や大根、ネギなど沢山の野菜を収穫しました。お昼はつきたてのお餅。子供たちに杵の重さと餅をつく難さを体験していました。農業は国の礎です。本市の農業政策にもさらに力を入れてまいります。



▲仙台高校創立80周年記念式典

母校である仙台高等学校の創立80周年記念式典へ参加。一つ上の偉大な先輩プロバスケの仙台89ERSの志村雄彦社長による記念講演があり、母校への思いと未来への熱いメッセージをいただきました。吹奏楽部とダンス部のパフォーマンスもありましたが、ホントに圧巻でした！わたしも、現役の皆さんに恥じない先輩として母校の伝統を大切にしていきたいと思っております。



▲仙台市営地下鉄の安全対策

京王線刺傷事件を受けて、仙台市営地下鉄の安全対策について、富沢車両基地へ現地調査とヒアリングに伺いました。南北線車両への防犯カメラの搭載は2024年度に導入予定の新車両3000系に、東西線は現行の2000系への搭載を予定しています。市民の皆様安心して乗車してもらえよう、バックアップしてまいります。

宮沢緑地『石の広場』のリニューアルしました！

広瀬川の宮沢緑地にある遊具『石の遊び場』が補修、カラフルにお色直ししました。(少なくとも30年よりは前に私も遊んでいました。)隣接する南材エリアは公園や遊び場がなく、宮沢緑地がこの辺りでは一番広い遊び場ですが、複数の保護者から『改善してほしい』とお声をいただき、若林区公園課に要望、早期に改善することができました。お子さんが安全に遊べるよう、引き続き子どもの遊び場の環境づくりに取り組んでまいりますので、いつでもご相談ください！



ハンサムネット設置



河原町二丁目エリアの方よりごみ集積所についてご相談があり、若林環境事業所へ要望。ハンサムネットの設置に立ち会いました。家庭ごみの集積所は、利用している皆さんで管理・運営していただいています。新たに集積所を設置したい場合や、ハンサムネットに関してもお気軽にお問い合わせください。

防犯ステッカー設置



議会での質問取り上げた、本市の児童館に1割程度しかなかった「警察官立寄所」の防犯ステッカーを設置してもらいました。誰でも来ることができる公園的な位置づけの児童館。子どもを見守る施設という意味では、学校と変わりません。防犯カメラの設置についても必要度合いに応じて、早期設置を求めています。子どもたちや保護者の命を守ることを最優先に引き続き取り組んでまいります。

お気軽に「ご相談ください」



f inotaka35office/



@inotaka0924



1983takahiroinotaka

SNSでも情報発信中です！

仙台市議会議員

猪又隆広

いのまた たかひろ



仙台市政報告書 vol.009

第9号
発行：猪又隆広事務所
〒984-0816
仙台市若林区河原町1丁目2-52
TEL.022-216-3351
FAX.022-216-3352
https://inotaka.info
takahiroinotaka0924@gmail.com

創造的な仙台のまちづくり！オミクロン株の対策へ万全に備える！



仙台市議会議員 猪又 隆広

御挨拶

新たな年を迎えました。新年早々に、仙台市が中心部に整備する音楽ホールの建設地が青葉山交流広場に最終決定する見通しであること、仙台駅前の高速バス乗り場の集約化や公共交通ターミナル整備事業である「バスタプロジェクト」の進展、JR仙台駅西口の一部を広場化する構想のための拡張実験など、将来を見据えた仙台の新たなまちづくりの様相が見えてきました。しっかりと議論を深め、結論ありきではなく、何が市民の皆様にとって最大の幸福につながるかを考えていかなければなりません。年明け以降、仙台市内でもオミクロン株による感染者が広がりつつある中、市は宮城県とも連携し宿泊療養施設の確保に取り組むとともに、保健所の機能強化、ワクチンの三回目接種に向けて取り組んでいます。今後の感染状況によっては、さらなる経済対策も必要になってくると思いますが、いずれにしても一人ひとりの感染防止対策、これに勝るものはありません。新型コロナウイルスも3年目です。引き続き皆様からの声をパワーに変え、さまざまな地域や市全体の課題に提案型で臨んでいきたいと思っております。

市政あれこれ：新型コロナウイルス感染症対策（1月21日現在）

第3回仙台市中小企業チャレンジ補助金事業申請受付を開始しました

※詳細に関しては仙台市のHPをご確認ください

【申請期間】

令和4年1月7日(金曜日)～2月4日(金曜日) 必着

【対象者】

- ①中小企業：①市内に本店または主たる事務所の登記を行っていること
②資本金の額等が10億円未満
(定められていない場合は、常勤の従業員数が2,000人以下)の法人
- ②個人事業主：市内に住居登録があることまたは市内に施設を所有・賃借し、当該施設で事業を行っていること

【対象要件】(※抜粋)

全ての要件を満たす事業者
令和3年1月から同年12月までの売上高が、その前年または前々年における同月の売上高と比較して、10%以上減少していること等、他5項目の条件あり

【補助対象経費】

使用目的が本事業の実施に必要なと明確に認められる費用で、令和3年10月12日以降に発注または契約する費用

【補助金支給額】※別途各種条件あり

通常枠	一事業者あたり 上限 200万円	特別枠	一事業者あたり 上限 400万円	事業枠	一事業者あたり 上限 400万円
-----	---------------------	-----	---------------------	-----	---------------------

【事前相談】※必須

応募申請の前に、公益財団法人仙台市産業振興事業団が設置する仙台市中小企業応援窓口にご相談し、専門家等から事業内容について確認を受けてください。

事前相談の申込先

公益財団法人 仙台市産業振興事業団
(中小企業応援窓口)
TEL.022-724-1122
[受付時間] 平日 9:00～17:00



【申請先】

申請書に必要な書類を添えて郵送またはメールで提出してください。

株式会社エス・ビー・シーホールディングス内
仙台市中小企業チャレンジ補助金 事務局
〒980-6009 青葉区中央 4-6-1 住友生命仙台中央ビル 9階
電話：022-395-9155 / メール：sendai-challenge@sv-c.jp
(受付時間 平日 10:00～18:00)

仙台市中小企業応援窓口

公益財団法人仙台市産業振興事業団が運営しています。お悩みや課題に応じて専門家が対応しています。また、ARE7階に訪問せずとも電話・メール・WEB会議システム(zoomなど)でのご相談を承ります。

[受付時間] 平日 9:00～17:00

TEL.022-724-1122



【新型コロナ】経済・生活面の相談窓口

- ◇心の相談窓口
 - ・仙台市在住者 022-265-2229
 - ・仙台市以外 0229-23-0302
- ◇差別や誹謗中傷被害 090-1552-1477
- ◇出産・妊婦生活の不安 090-1060-2232
(※月、水、金曜午後1～7時)



仙台市議会 令和3年度 第3回定例会 一般質問

①【広瀬川の越水対策と県への要望】

Q: 近年頻発する集中豪雨では、河川の氾濫や土砂災害等被害は拡大している。本市としても広瀬橋と宮沢橋の間にある中州の早期撤去を県に要望し、不安を抱える市民のために行動していくことを強く求めるが、当局のご所見を伺う。

A: 広瀬川の堆積土砂の撤去につきましては、宮城県が平成17年に策定した「広瀬川管理計画」や「河川維持管理計画」に基づき、対応が必要な区間から、順次河道の掘削工事を実施している。当該区間の中州につきましては、令和元年に現地測量を実施し、その結果、整備計画に定めた流下能力は確保されており、現在のところ撤去を行う予定はないものとなっている。近年、頻発する豪雨災害を踏まえ、地域の皆様のご心配は認識しているところであり、地域の皆様の声を宮城県へしっかりとお伝えしてまいりますとともに、適宜、パトロール等により中州の状況把握に努めながら、必要な対応を検討していただけるよう要望しています。(建設局長)



②【アフター GIGA スクールと本市の課題】

Q: ネットアクセスが遅いことにより chromebook が使われなくなり、せっかく整備した端末を活かしきれず、児童生徒の情報活用能力が育たないのではと懸念がある。令和3年8月上旬にはこれまでの10倍の回線速度である高速ネットワークの整備が終わり、学校の授業でインターネットに各クラスが同時に接続をした場合でも、安定が図られているものと思うが、今般の更新により、各校でのネットワーク速度が十分に保たれているのか、現状の把握と回線の安定度についてどのように認識しているのか伺う。

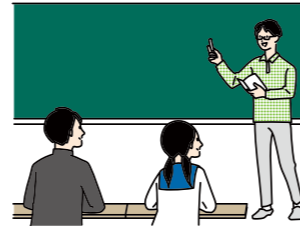


A: 本市の教育情報ネットワークは、各学校からデータセンターに集約後、インターネット回線に接続する方式であり、8月にそれぞれの回線の増強を行っている。夏休み明け、各学校の回線利用状況を確認するとともに、数校に通信速度の状況をヒアリングした結果、大規模校も含め、安定的な利用が可能であることを確認しており、ネットワーク環境が十分に確保される状況になったと考えている。(教育長)

Q: ネットワーク回線も安定した今、各校の端末活用度について教育局としてどのように把握しているのか伺う。併せて、学校間の格差についてはどの程度あると認識しており、その結果をもとにどのような対策を施しているのか伺う。

A: 本市では、GIGA スクール推進に役立つ資料や情報をまとめた「仙台 GIGA スクールサポートサイト」を8月に開設し、本市の取り組み等を掲載し市民の皆様へ公開しているところ。今後も、GIGAスクールの実践事例の紹介など、サイトの充実を図り、学校関係者や保護者の皆様への発信に努めてまいります。(教育長)

Q: 一斉休校になった場合、すべての学校で双方向のオンライン授業に切り替えることができる状況にあるのか伺う。



切り替え



A: 本市では、非常時に備え、全ての学校が情報端末を持ち帰っての練習を行っており、家庭で端末を活用したオンライン学習の基礎的な環境は整ったところ。引き続き、各学校において、校内での端末活用を積極的に進めるとともに、児童生徒と教職員がともに、オンライン学習に向けての習熟を図っていくことが必要と考えているところ。(教育長)

③【公立の夜間中学の設置】

Q: 夜間中学校は、高齢の方や不登校などで満足に教育受けられなかった方や、日本で生活する外国人を受け入れる役割としても、重要な位置づけを担っているが、都市長は市長公約にも掲げた公立の夜間中学校の設置に関して、今後どのようなブランドデザインを描き、開校に向けた準備や、開校の時期についてご所見を伺う。

A: 就労のために学校に通えなかった、あるいは、卒業はしているものの様々な事情によって深く学ぶことができなかったなど、十分な教育を受けられずに学齢期を過ぎた方がいらっしやいます。そういった方々の学校で学びたい、学び直した

という大切なお気持ちに添えていくために、私は本市においても、幅広く入学者を迎えることができる公立の夜間中学の設置が必要と考えている。これまで本市では、宮城県と共同で研究会を立ち上げまして、夜間中学設置に向けた調査研究報告書をまとめることと、庁内での検討や県との協議を行っているが、引き続き、施設の整備や、教員の配置、そしてまた、教育課程の編成などの課題を一つ一つ解決し、夜間中学の早期実現に向けて取り組んでまいります。(市長)



仙台市議会 令和3年度 第4回定例会 一般質問

①【児童館における子どもの安全確保策】

Q: 近年、不審者によって私たちの安心安全が脅かされているが、次代を担う子どもたちを守っていくことは私たち大人の責務であり、子どもたちが長い時間を過ごす教育施設での防犯対策は喫緊の課題である。本市内の児童館施設にどの程度防犯カメラやインターホンがあり、今後どのような設置状況を考えているのか伺う。

A: 本市の児童館全112館のうち、防犯カメラにつきましては5館に、インターホンにつきましては約6割の児童館に、「警察官立寄所」等のいわゆる防犯ステッカーについては、約1割の児童館に設置しているところである。防犯カメラや防犯ステッカー、催涙スプレー等の防犯用品は、不審者の侵入対策に効果があると認識しており、まずは、防犯ステッカー及び催涙スプレーについて、できるだけ早期に設置を進めてまいります。また、防犯カメラについては、より必要度の高い児童館から計画的に導入できるよう検討を進めてまいります。(子供未来局長)



Q: 六郷児童館のように市民センターと併設されている児童館の多くは、市民センターと同様のつくりになっているケースが多いことからほとんどの各部屋で内鍵が存在するが、一方、単独型である南材木町児童館では各部屋に内鍵が設置されていません。そういった中、子どもたちや児童館職員が不審者と距離を取りながら、一つの部屋に避難する場合、最寄りの警察官が来るまで子どもたちを隔離する部屋に内鍵がなければ子どもたちを守れません。本市児童館の各部屋への内鍵の有無の状況と、内鍵がない児童館に対しては、現場の声を踏まえ、早期に内鍵の設置を望みますがご意見を伺う。



A: 本市の児童館のうち、2室以上に内鍵がついているのは87館、1室のみが6館、いずれの居室にも設置されていないのが19館となっており、内鍵のある部屋に児童が閉じこもるなどの懸念はあるものの、万が一、不審者が館内に侵入してきた場合の対策として、必要な居室に内鍵を設置しておくことは、必要なことであると認識している。運営団体の意見も伺いながら、児童館ごとの施設の実状に応じて、設置の検討を進めてまいります。(子供未来局長)

②【児童館のインフラ整備】

Q: 本市の児童館の改修は、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき、建築・電気・機械の各保全部位の改修周期に合わせて全面改修、一部改修をおこなってきた。先ほどの防犯対策でお訪ねした南材木町児童館は築年数が19年であり、これまで一度も大規模改修がなく、計画保全基準の明確化に照らし合わせると、20年の経過年数で屋根や外装の全面改修、内装の一部改修の期間に当てはまる。特に遊戯室の床は所々劣化しており、児童館で遊ぶ子どもたちの中には、床のささくれによってトゲが刺さりけがをすることもあった。改善の必要性を感じるが、南材木町児童館の整備と併せて令和4年度以降の仙台市内の児童館改修の見通しについて伺う。

A: 本市においては、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき、今ある施設を長く大切に使うことを目的として、計画的に施設の大規模改修工事を進めているところ。令和4年度以降の児童館の改修予定につきましては、築年数や施設の劣化状況等を勘案し、毎年、設計と工事をそれぞれ3館程度ずつ進めることとしており、令和5年度までの具体的な個所付け、実施予定は、本市の実施計画で定めている。南材木町児童館の大規模改修工事は、令和6年度以降となりますが、それまでの間、遊戯室の床のささくれ等、児童の安全に関わるものについては、逐次修繕をしております。(子供未来局長)

③【本市の今後のドローン活用】

Q: 本市は国家戦略特区に指定されているとともに、近未来技術実証特区に位置付けられており、ドローン活用に関しては、近未来技術実証ワンストップセンターが民間企業の手続き支援や関係団体の連絡調整、実証実験の支援を行っている。この事業は、プロジェクト推進課内にあるクロス・センダイ・ラボで行っているが、令和元年11月の開設以来、これまで164件の問い合わせがあり、うちドローン活用に関しては15件あると伺っている。特に、本市は東日本大震災の経験から津波避難広報ドローンや防災・減災での活用に重きを置いているがこれまでの実証実験の成果や実績を伺う。

後とも、国からの情報収集なども図りながら、改正航空法によるレベル4飛行の実現に向けた事業者の実証実験を支援してまいります。また、スーパーシティ構想におきましても、東北大学キャンパス内のインフラメンテナンスや、農学部内の農場への農業散布などへのドローン活用を計画しており、ドローンの更なる活用とスーパーシティ構想の実現に向け、大学や事業者との連携を加速してまいります。(まちづくり政策局長)

A: 本市ではこれまで、橋梁点検や津波避難広報など防災・減災分野におけるドローン活用のほか、農業用ドローン操縦士の教習所の開校や、レベル4でのドローン飛行に向けた先行実証実験など、事業者提案による取り組みを支援してきたところ。今



▶スーパーシティ構想とは

令和2年の国家戦略特別区域法改正により、新たに国家戦略特区の一類型として「スーパーシティ型国家戦略特区」が創設されました。スーパーシティ構想とは、大胆な規制緩和を行うとともに、複数分野のデータ連携と先端的なサービスの提供により未来の生活を先行して実現する「まるごと未来都市」を目指すものです。仙台市では、将来における急激な人口減少と東京への一極集中が危惧される中、本市の持続的な経済成長の実現に向けた方策の一つとして、スーパーシティ型国家戦略特区制度の活用を図ってまいります。



猪又たかひろの議会での質問の様子をいつでも確認できます。詳細は「仙台市議会インターネット中継」で検索ください。